



さの
佐野 あつし
孜 議員
(富岳会)

朝霧高原における富士山の絶景ポイント対策

問 富士山と放牧牛の撮影による渋滞対策。

部長 国道事務所・警察の連携で違法駐車対応。

市長 永年の問題。地権者の協力など幾つかの課題が解決できれば、広い駐車場を造りたい。

問 売却された既存のバイオマス発電施設の利用方針とふん尿処理対策の方向。

部長 施設は環境省が競売し県外の民間業者が落札。今後の利活用は、現段階では不確定要素が多分で事業者を考え方を聞いている。また、この実証実験により、ふん尿処理に対する意識改革や消化液の肥料効果等のメリットが見えた。

意見 家畜の肉と乳は人間の栄養。ふん尿は大地の栄養。朝霧高原は富士宮市の顔と捉える。

令和3年度の富士登山の方向性について

問 人数制限・入山料・宿泊客の受入体制は。

部長 人数制限の話は聞いていないが、登山の休日から平日への平準化を図る。入山料はないが、保全協力金は任意で1千円を予定。表富士宮口登山組合の取組として、感染症対策で山小屋の宿泊定員を2～3割減少させる方向。

学校教育環境の整備について

問 令和2年度の教育活動の成果は。

教育長 教育活動や学校行事に様々な感染症対策を講じた結果、臨時休業も無く、入学式や運動会は全ての小中学校で実施。富士山学習も地域と教室をインターネットでつなぎ実施。

問 令和3年度の教育委員会の取組方針は。

教育長 基本的な感染症対策を実施し、令和2年度に実施できなかった活動を令和3年度は実施できるよう検討をお願いする。1人1台パソコンを活用し、不登校対策を考えていきたい。

問 学校の一斉消毒はどう考えているか。

教育長 消毒は毎日している。感染症が発生した場合は、すぐに一斉消毒できる体制を作っている。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

市立病院や福祉施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した場合の対応は

問 クラスターが発生した富士市立中央病院の事例をどう生かすのか。

病院長 県や保健所と連携して、「ふじのくに感染症専門チーム」や「災害派遣医療チーム」の派遣要請も視野に入れて対応する。

問 クラスターが発生した場合、市立病院の感染状況・対策などの情報提供は市当局の役割だと考えるが、市長の認識を伺う。

市長 中央病院の例もあるので、病院との情報交換、市民への呼びかけなど、市が危機感を持ってやっている姿を伝えていきたい。

問 PCR検査陽性者の有無にかかわらず、高齢者施設の社会的検査を行う姿勢はあるか。

部長 仮に高齢者施設で、1人でも発熱などの

症状が出た場合、必ずPCR検査して、陽性が確認されたら、施設全体のPCR検査を実施する。

新型コロナウイルス感染症自宅療養者対応は

問 保健所と連携して自宅療養者の対応に取り組んでいるのか。

部長 自宅療養者などの個人情報には保健所から市に提供されないが、場合によって、保健所からの要請があれば連携して取り組んでいく。

問 自宅療養者の容態急変時の対応は。

部長 保健所が24時間体制で電話対応している。連絡すらできない場合は、ちゅうちょせず救急車を呼んでいただきたい。

生活保護申請時の扶養の照会について

問 経済的援助につながらない扶養の照会（親・兄弟・親戚への援助可否の問合せ）は、やめるべきではないか。

市長 確認すること自体が無駄骨のような状況にあり、法的に縛りもないので、よくよく検討したい。

